

養成所ニュース

平成12年度 第1号 No.5

発行
財団法人 日本知的障害者愛護協会
社会福祉士養成所
〒105-0003 東京都港区西新橋2-16-1
全国たばこセンタービル7階
TEL:03-3438-0984

第12期生321名が受講スタート!

第12期・新受講生を迎えて

財団法人 日本知的障害者愛護協会
社会福祉士養成所

所長 雄谷 助成



このたびは受講おめでとうございます。

これより皆さんは多忙な中、社会福祉士の受験資格取得の希望を胸に努力を重ねられるであろうことと思います。社会全体の大きな転換期にあって、社会福祉の基礎構造改革は大きなうねりをともなう進められつつあります。この変革の担い手として「社会福祉士」には今大きな期待が寄せられています。「生活支援事業」における「生活支援ワーカー」、「地域療育拠点施設事業」における「コーディネーター」、そして「ケアマネージメント体制整備推進事業」における「ケアマネージャー」にいたる一連の地域生活支援のための担当者の資質は常に「社会福祉士」と重なり、他のどの分野にも「社会福祉士」の名が浮かびます。まさに社会福祉基礎構造改革の実際の推進者としての期待がよせられているのです。この受講を通し、しっかりと専門的知識と技術を身につけ、国家資格を取得し、受講者個々が新たな福祉の推進者としての道を切り開かれんことを期待します。

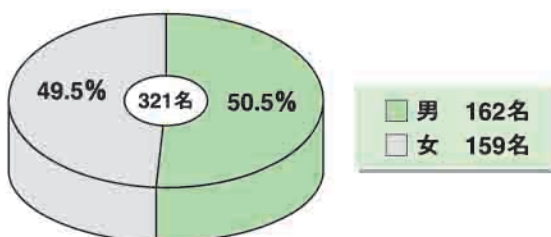
■第12期生の概要(4月1日現在)

社会福祉士養成所第12期生の受講生は、321名となりました。
概要については下記の通りです。

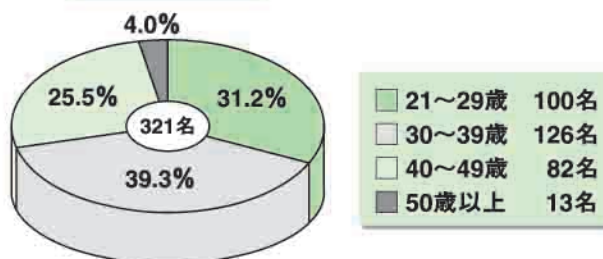
●応募状況(過去3年間)

年度(期生)	応募者数	入学者数
平成10年度(10期生)	1,700名	306名
平成11年度(11期生)	1,913名	300名
平成12年度(12期生)	1,580名	321名

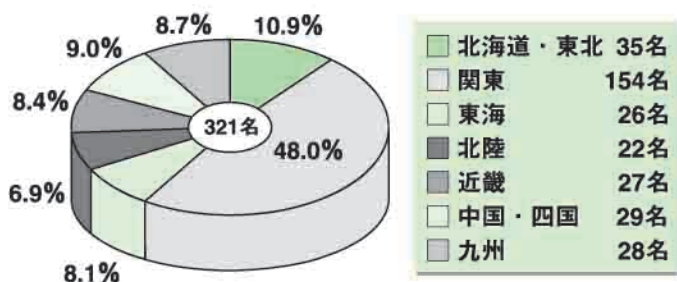
受講生男女比



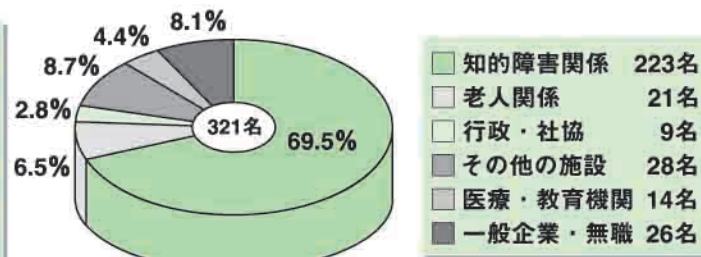
年齢別分布



地区別分布



勤務先種別



国家試験合格者の声

あじさいの里 高 梨 優

受験勉強開始にあたり、まず考えたことは「どのようにして勉強の習慣をつけるか」ということでした。というのも私の仕事は勤務時間が不規則な特別養護老人ホームの介護職であり、家庭では3歳児と0歳児の父親であるため、毎日欠かさず勉強を続けられるかどうか最大の問題と思えたからです。「とにかく1ヵ月間、何が何でも絶対に休まず一冊だけ過去問題をやり遂げよう」と、それだけを目標に7月1日から勉強を始めました。

方法は第6回～8回の過去問題解説集(3年分で一冊・中央法規出版)450問の要点を、分かってても分からなくてもいいからノートにまとめていく、というものでした。夜勤の明けや自分の休みが子供の保育園の休みとぶつかったりして、かなりつらい日もありましたが「1ヵ月ぐらい頑張れないようでは試験の結果もしたも」と自分に言い聞かせ、結局1日も休まずノルマを達成しました。分からないことだらけでしたが、この「休まず勉強した」ということが大きな自信となり、その後の勉強に弾みがつきました。以降、第9回、第10回の過去問題解説集を同じようにこなしていきましたが、この作業をくりかえしていくうちに、次第に分からなかったことが分かるようになり、7月のつらかった勉強がうそのように面白くなっていきました。こうなってくると勉強を毎日続けることが苦になりません。このような「あ、つきぬけたかな」という感じが得られたら、その時点で合格は9割がた決まったようなものだと思います。そしてそこに至るまでは、今にして思えば意外と短い時間でした。

勉強の方法は人それぞれだと思いますが、大切なのは「勉強の習慣をつけること」につきますと思います。はじめのうちはつらいこともあると思いますが、なんとかその時期をのりこえるところまでは頑張って勉強を続けてみて下さい。そこまできたら、きっと私のお話したことが分かってもらえると思います。

大阪知的障害者育成会 北尾 明美

試験勉強は試験の2ヵ月前からで良いと言われていましたが、私は能力と年齢からして、その倍近くは必要と思っていました。スクーリングでの講師の先生方の受験に向けてのアドバイスで、“やる気”を掻き立てられ、気持の熱いうちに準備を始めようと、9月からカード作りを開始。受験ワークブック上下2冊の重要項目の部分のコピーし、大きめの単語カードに項目ごとに貼付。この作業に1ヵ月を要し、カード綴りは全科目で20個にもなりました。毎日毎日ただ切り貼りばかりしていて良いのかと焦る気持ちもありましたが、『急がば回れ』と自分に言い聞かせて続けました。会議・出張も多く、平均帰宅時間は9時過ぎ、土日も行事で出勤することの多い職場ですが、どんなに遅く帰宅しても、20分でも30分でも必ず机に向かいました。通勤電車は格好の勉強の場、毎日1科目ずつカードの重要項目を覚え(目を通し)、帰ればその科目の過去問を解くことを各科目ごとに繰り返します。忘れることと覚えることの競争で、試験までに各科目3回位は繰り返したでしょうか。11月の模擬テストの結果は自分の得意不得意を知る絶好のチャンス。12月に入ると、正解率7割を確実に確保出来るよう過去問・模擬問題集を何度も繰り返し解きました。あやふやな知識が少しずつ整理されて確かなものになることが楽しい時期もありましたがスランプもありました。どうしても眠気が襲ってきて仕方がないのです。そんな時は何かで気分転換をはかり、合格の報に喜ぶ自分の姿をイメージして「寝る前にもう一度、少しだけでも」とねばりました。

ちなみに今回の試験では51歳～60歳の合格率は3.2%だそうで、51歳ではかなりの冒険だったのかと今頃になって冷や汗がでます。①気力、②集中力、③持続力、この三つの力あればこそです。最後に、通信教育より2年間に渡って協力してくれた家族にお礼を言います。大きな自信をありがとう。

白河めぐみ学園 小原 香苗

今回私が合格する事が出来たのは、身近に資格を持った先輩方がいた事と、共に目指す友人に巡りあえた事だと思います。今回の試験はこれまでの問題と異なり、より実践的でした。私自身は福祉新聞の方で自己採点しましたが、各機関によって解答の一致しない問題も、今年は多数あると聞いています。身近に活動している先輩方に恵まれ、話を聴く機会や、様子を伺う機会に恵まれた事が、私の勝因だと思います。そういう点で、テキスト中心の勉強だけではなく、社会福祉士会主催或いは実践活動について触れる事のできる研修会に参加することも、効果的だと思います。

又、私は現場実習関係者を集めての講習会に参加しましたが、そこで試験直前まで叱咤激励しあえる友人に出逢うことが出来ました。スクーリングでは、更に多くの人に出会います

が、職場単位で受講している場合等、どうしても職場単位でまとまってしまうがちです。もっと広く、様々な人達と交流を持ち、情報交換をしながら進めていくことで、受講終了後の半年を乗り切ることが出来るかが変わってくると思います。

テキストとしては、ワークブックを中心に、全体の繋がりを整理するために、「国民の福祉の動向」に目を通しました。私自身は参加できませんでしたが、10月の社会福祉士受験セミナーは、合格の鍵を握ると教えられました。又、11月の模擬試験は、自分の弱点を把握するという意味で、参加する意義は十分にあると思います。年末からは勉強よりも、健康第一です。風邪を引かないように、長引かせないように。受講終了後の半年は、一生のうちでほんの一握りの時間です。その時間を大いに活用し、満開の桜を咲かせられるよう、邁進して下さい。

残念ながら合格できなかった方達の中から反省とコメント (アンケートより抜粋)

Tさん ・日々少しずつ勉強を継続する必要があることがよくわかった。やはり合格した人達は並の勉強量ではないと思った。気持ちを入れ替えて来年を目指す。

Yくん ・通信教育を終了した時点でホッとしてしまい本番まで緊張感を維持できなかった。「後悔先にたらず」の心境を実感させられた。この思いを来年に託す。

Mさん ・過去に出された問題を解くだけに終わってしまい各教科を系統的にじっくりまとめていく時間がほとんどなかった。一から勉強し直し来年に向けて頑張りたい。

Kさん ・自分なりに勉強はしたつもりだったが問題が複雑になっており、単純な知識だけでは解答できないものが多かったように思う。ほんとうの意味での知識と応用が試された感じがして、そうした課題への対応も含めてやり直そうと思う。

養成所（通信課程）受講に際して

財団法人 日本知的障害者愛護協会
社会福祉士養成所

専任教員 後藤 昭八郎



いよいよ4月から第12期生の受講が始まりました。たくさんの方から応募の中から選ばれた皆さん方にとっては、さぞ希望に胸をときめかせていることと思います。一方大部分の方たちは社会人として仕事をもっている、それだけでも勉強との両立は大変なことですが、そのうえ家事や育児で休む間もない忙しい毎日を送っている方などは、果して最後まで続けられるものやらと早くも不安や焦りの気持ちを抱えているのではないのでしょうか。いずれにしても希望と期待を持ちながらも、国家試験までのことを考えると先が長いので、今は複雑な思いの方も多いかと思われます。しかしそういう方たちも、この紙面に掲載させて頂いた先輩たちの「合格者の声」を読んで、「よし、自分もやるぞ!」という気持ちに駆り立てられたことと思います。執筆された3人の方はそれぞれ状況も違いますから勉強の方法は異なりますが、基本的な学習の姿勢をよくわきまえた取り組みのサンプルといってもよいでしょう。集中して勉強に専念できる恵まれた環境の方もいますが、それはごく一部の人で大部分の方たちは極めて厳しい状況の中で無理を承知で勉強時間を捜し出し、捻り出しているのが実情なのです。それはある意味で、社会人として通信教育を受講する者としての宿命といってもよいでしょう。特に社会福祉士国家試験の合格率は3割以下という厳しさですから「時間がある時にやればいい」とか「暇の時にやろう」ということでは養成所の受講終了はできたとしても、合格は難しいのではないのでしょうか。やはりそれなりの「決意」が必要なのです。前掲の合格者の3人の方は当然この点をわきまえた上で、自分の個性や状況に応じた計画を立てそれを着実に実行しています。Tくんは強烈な意志の強さと行動力をバネに短期的、中期的、長期的とそれぞれに応じた段階的な計画を立て、それを確実にこなしています。自ら「継続は力なりですね。」と述べていましたが、本当に「お見事」としか言い様がありません。Kさんはスクーリングでの教員のアドバイスに刺激され奮起し、早めに緻密な計画を作成し、寸分の時間さえも無駄にしない学習法で不利な条件を克服し、見事栄冠を獲得してい

ます。「やればできる」の信念は大きな自信になったことでしょう。Oさんは少し方針が異なり、テキスト中心の勉強だけでなく研修会や講習会に参加し、そこでの経験とそこで出会った様々な人達との交流を通して情報交換をしながら進めていくということを心がけ、受講終了後の半年を乗り切るにも実に効果的だったようです。さて、ここでは執筆していただいた3人の方々の「声」を中心に話してきましたが、受講に関してというよりも国家試験を視野に入れた長期的な展望にたった内容で、12期生だけでなく来年受験を目指す11期生または10期生以前でまだ合格していない方たちにも大いに参考にさせていただき、その上であくまでも自分の条件や特性になかった学習法を早く見出して取り組んでもらいたいと思います。なお今年国家試験を受験された10期生を対象としたアンケート調査には多くの方々から回答が寄せられました。その中には皆さんにぜひ伝えたいコメントがたくさん含まれていますのでスクーリングや次のニュース等でお伝えしていきたいと思っています。それから受講を開始したばかりの12期生は、まず「今やるべきこと」をきちんと押さえておく必要があるでしょう。それは分かりきった当然のことなのですが、今の段階ではテキスト全体にしっかり目を通し、必ず読み切ったうえで期日までにレポートを提出することに専念してください。目先のことだけにとらわれることなく、今のうちに体系的な勉強をしておくことが、将来社会福祉士として専門性を発揮していくためには大切なことだからです。過去問・模擬問題集等は受講終了後でも本格的にやれば間に合います。その時間が取れるのであればテキストをただ読み終えるのではなく、「声」にもあったようにノートあるいはカードに重要な事項や用語等の要点を書き留めてまとめておいたり、テープに録音したりしておけば覚えるのに便利で効果的です。このように単に視覚だけでなく、触覚や聴覚などあらゆる感覚を総動員して頭と身体で覚え込み思考する学習法をぜひお勧めします。11期生はあとと言う間に終了の時期を迎えます。レポートは早めに提出して8月の後期スクーリングに備えましょう。それでは最後となりましたが養成所教職員一同、皆さんのご健勝とますますのご活躍・発展を期待しております。

第11期生後期スクーリングのお知らせ

会場 パシフィコ横浜「会議センター」

日程 平成12年8月7日(月)～13日(日)

●日程表

月 日	時 限	科 目	講 師 (所 属)
8/7 (月)	9:20～9:30	開 講 式	
	9:30～12:30	老人福祉論	和気康太 (明治学院大学)
	13:15～16:15		下垣光 (日本社会事業大学)
	16:25～16:55	老人福祉論 試験	
8/8 (火)	9:30～12:30	社会福祉援助技術各論Ⅰ	春見静子 (上智大学)
	13:15～16:15		
	16:25～16:55	社会福祉援助技術各論Ⅰ 試験	
8/9 (水)	9:30～12:30	社会福祉援助技術総論	松本栄二 (帝京平成大学)
	13:15～16:15		
	16:25～16:55	社会福祉援助技術総論 試験	
8/10 (木)	9:30～12:30	社会福祉援助技術各論Ⅱ	松本栄二 (帝京平成大学)
	13:15～16:15		
	16:25～16:55	社会福祉援助技術各論Ⅱ 試験	
8/11 (金)	9:30～12:30	社会福祉援助技術演習	演習教員
	13:15～16:15		
8/12 (土)	9:30～12:30	介護概論	宇佐美千恵子 (昭和医療短期大学)
	13:15～16:15	公的扶助論	松崎泰子 (淑徳大学)
	16:25～17:25	介護概論・公的扶助論 試験	
8/13 (日)	9:30～12:30	地域福祉論	野口定久 (日本福祉大学)
	12:40～13:10	地域福祉論 試験	
	13:45～15:45	模擬試験 (申込者のみ)	

(財)社会福祉振興・試験センター
社会福祉士国家試験案内

TEL 03-3486-7559

または
URL <http://www.sssc.or.jp/>
にアクセスすると以下の情報が得られます。

- ①資格制度の概要
- ②国家試験の受験資格
- ③受験申し込み手続き
- ④国家試験の概要
- ⑤登録申請手続き

修了生の方へ

国家試験の受験状況に関する情報をご提供いただきありがとうございます。今後の参考にしていきたいと思っています。

第12期生
前期スクーリング日程
会場:日本都市センター会館
コスモスホール

期間:平成12年
11月19日～25日

受講生の方へのお願い

- 住所変更の際は所定の様式にて至急お知らせください。
- 電話でのお問い合わせの際は学籍番号と氏名をお伝えください。
- 養成所からの発信物は必ず目を通し、理解するようにしてください。(問い合わせの多くが記載されています。)

養成所に対するお問い合わせ先

(財)日本知的障害者愛護協会 社会福祉士養成所

〒105-0003 港区西新橋2-16-1 全国たばこセンタービル7階

Tel: 03-3438-0984(養成所直通)

※養成所に対するご要望・ご意見等ございましたら、ご連絡ください。